



平成21年2月期 第1四半期財務・業績の概況

平成20年6月25日

上場会社名 **イズミヤ株式会社**

上場取引所 東証一部・大証一部

コード番号 **8266**

URL <http://www.izumiya.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 林 紀男 TEL (06) 6657-3310(ダイヤル・イン)

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員

(氏名) 田中 博和

秘書・広報室長 兼 経営企画室長

1. 平成21年2月期第1四半期の連結業績 (平成20年3月1日～平成20年5月31日)

(百万円未満切捨て)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年2月期第1四半期	94,227	(0.5)	1,312	(3.1)	1,059	(3.4)	345	(△28.1)
20年2月期第1四半期	93,797	(0.6)	1,272	(30.3)	1,024	(26.1)	481	(0.5)
20年2月期	381,066	—	6,794	—	5,551	—	2,010	—

	1株当たり四半期 (当期)純利益		潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益	
	円	銭	円	銭
21年2月期第1四半期	4	7	—	—
20年2月期第1四半期	5	54	5	53
20年2月期	23	16	23	15

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円	銭
21年2月期第1四半期	266,856		106,161		39.7		1,245	22
20年2月期第1四半期	267,299		106,546		39.8		1,221	03
20年2月期	262,661		106,270		40.4		1,246	47

2. 平成21年2月期の連結業績予想 (平成20年3月1日～平成21年2月28日)

(%表示は、通期は対前期、中間期は対前年中間期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
中間期	193,000	2.1	3,900	6.1	3,300	8.6	1,500	66.4	17	64
通期	390,000	2.3	8,300	22.2	7,000	26.1	3,200	59.1	37	63

3. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う
特定子会社の異動) : 無
- (2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 無
- (3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 有
- (注) 詳細は2ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他 をご覧ください。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって異なる結果となる場合があります。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期は、ガソリンや食料品等の生活必需品の価格上昇を背景として、消費者が生活防衛意識をさらに高める動きが見られました。このような環境の中、「毎日がお買い得」をキャッチフレーズにしたEDLP（エブリデイ・ロープライス）を追求する戦略業態「スーパーセンター」が全店とも好調に推移しました。

4月には第6号店となるスーパーセンター紀伊川辺店（和歌山県）を開店しました。既存店におきましては、衣料品や家電、ホームファニッシングなどの中・低頻度品の買い控え傾向が表れ苦戦いたしましたが、食料品と日用品などの高頻度品におきましては、適正価格追求の方針の下に実施したプライベート・ブランドの販売拡充や価格据え置きキャンペーン「値上げSTOP宣言」がお客様から高い支持を受け、堅調に推移しました。また、中国製冷凍餃子事件等を背景に、お客様の安全・安心への関心が高まる中、国産品へのシフトや内食化傾向が見受けられ、特に当社が独自に品質管理したプライベートブランドの国産肉の品揃えを強化した畜産品が好調に推移しました。

グループ各社におきましては、イズミヤカード株式会社が貸金業法への対応として平成19年12月11日よりキャッシングサービスの新規融資分の利率を17.95%に引き下げたこと等により苦戦いたしましたが、食品スーパーを展開するカナート株式会社が好調に推移した他、配送効率の向上に取り組んだ株式会社サン・ロジサービス（物流等事業）やグループ外からの受託を拡大した株式会社カンソー（総合ビルメンテナンス等事業）が好調に推移しました。

これらの結果、当社グループの第1四半期の業績は、営業収益は942億27百万円（前年同期比 0.5%増）、営業利益は13億12百万円（前年同期比 3.1%増）、経常利益は10億59百万円（前年同期比 3.4%増）と増収増益となりましたが、四半期純利益は商品券回収損失引当金の繰入等により3億45百万円（前年同期比 28.1%減）となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期末の総資産は、第1四半期の期末日が銀行休業日による現・預金、売掛金等の増加により前連結会計年度末と比較して、41億95百万円の増加し、2,668億56百万円となりました。

負債は、有利子負債は減少したものの、期末日が銀行休業日による仕入債務等の増加により、前連結会計年度末と比較して、43億4百万円増加し、1,606億94百万円となりました。

純資産は、当第1四半期の純利益の増加の一方、剰余金の配当による減少などにより、前連結会計年度末と比較して、1億9百万円減少し、1,061億61百万円となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

業績は概ね予定どおり推移しており、現時点においては平成20年4月9日に公表した業績予想からの変更はございません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用

該当事項はありません。

(3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更

当第1四半期連結会計期間より、「租税特別措置法上の準備金及び特別法上の引当金又は準備金並びに役員退職慰引当金等に関する監査上の取扱い」（日本公認会計士協会監査・保証実務委員会報告第42号 平成19年4月13日）が公表されたことに伴い、従来、未回収の商品券について、債務履行の可能性を考慮して一定の期間が経過したものについては、負債計上を中止し、その発行価額を営業外収益に計上しておりましたが、当該商品券が負債計上中止後に回収された場合に発生する損失に備えるため、過去の実績に基づく将来の回収見込額を引当金として計上しております。

この結果、当期首時点で計上すべき過年度の引当金繰入額138百万円を、特別損失として計上しております。これにより、従来と同一の方法によった場合と比べ、税金等調整前四半期純利益は138百万円減少しております。

5. (要約) 四半期連結財務諸表

(1) (要約) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円未満切捨、%)

科 目	前年同四半期末	当四半期末	増 減		(参考)前期末
	〔平成20年2月期 第1四半期末〕	〔平成21年2月期 第1四半期末〕	金 額	増減率	(平成20年2月 期末)
	金 額	金 額	金 額		金 額
(資産の部)					
I 流動資産					
現金及び預金	6,838	9,279	2,441		6,921
受取手形及び売掛金	10,201	11,844	1,642		9,296
たな卸資産	26,959	26,847	△ 112		26,454
繰延税金資産	1,898	1,991	93		1,717
その他の金	14,868	15,235	367		15,354
貸倒引当金	△ 1,031	△ 1,135	△ 103		△ 961
流動資産合計	59,733	64,064	4,330	7.2	58,783
II 固定資産					
(有形固定資産)	(157,506)	(155,866)	(△ 1,639)		(156,259)
建物	68,138	66,114	△ 2,024		66,510
土地	89,367	89,752	384		89,749
(無形固定資産)	(10,374)	(10,191)	(△ 182)		(10,305)
(投資その他の資産)	(39,666)	(36,697)	(△ 2,969)		(37,272)
敷金及び保証金	30,233	30,176	△ 56		30,489
繰延税金資産	1,911	1,546	△ 365		1,633
その他の金	7,645	5,071	△ 2,574		5,233
貸倒引当金	△ 123	△ 96	27		△ 84
固定資産合計	207,547	202,755	△ 4,791	△ 2.3	203,837
III 繰延資産					
社債発行費	18	37	19		39
繰延資産合計	18	37	19	105.6	39
資産合計	267,299	266,856	△ 442	△ 0.2	262,661
(負債の部)					
I 流動負債					
支払手形及び買掛金	27,614	31,255	3,640		25,822
短期借入金	26,875	49,744	22,869		40,684
コマニシャルハ - ハ -	8,500	3,500	△ 5,000		5,500
その他の金	23,381	19,159	△ 4,222		15,856
流動負債合計	86,372	103,660	17,287	20.0	87,864
II 固定負債					
社債	3,386	5,014	1,628		5,031
長期借入金	59,974	41,531	△ 18,442		52,874
預り保証金	7,137	6,727	△ 409		6,720
その他の金	3,882	3,761	△ 121		3,900
固定負債合計	74,380	57,034	△ 17,345	△ 23.3	68,526
負債合計	160,752	160,694	△ 57	△ 0.0	156,390
(純資産の部)					
I 株主資本					
資本金	39,066	39,066	-		39,066
資本剰余金	47,076	47,076	0		47,076
利益剰余金	19,896	20,738	841		20,902
自己株式	△ 127	△ 1,150	△ 1,022		△ 1,149
株主資本合計	105,911	105,730	△ 180	△ 0.2	105,896
II 評価・換算差額等					
その他有価証券評価差額金	369	154	△ 214		99
評価・換算差額等合計	369	154	△ 214	△ 58.0	99
III 少数株主持分	266	276	10	3.8	275
純資産合計	106,546	106,161	△ 384	△ 0.4	106,270
負債・純資産合計	267,299	266,856	△ 442	△ 0.2	262,661

(2) (要約)四半期連結損益計算書

(単位：百万円未満切捨、%)

科 目	前年同四半期 〔平成20年2月期〕 第1四半期	当四半期 〔平成21年2月期〕 第1四半期	増 減		(参考)前期 (平成20年2月期)
	金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
I 売 上 高	91,200	91,638	437	0.5	370,813
II 売 上 原 価	64,441	63,959	△ 482		260,118
売 上 総 利 益	26,758	27,678	920		110,694
III 営 業 収 入	2,596	2,589	△ 7		10,252
営 業 総 利 益	29,355	30,268	912		120,947
IV 販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	28,082	28,955	872		114,153
営 業 利 益	1,272	1,312	39	3.1	6,794
V 営 業 外 収 益	126	155	28		544
VI 営 業 外 費 用	374	408	33		1,788
経 常 利 益	1,024	1,059	34	3.4	5,551
VII 特 別 利 益	5	16	11		339
VIII 特 別 損 失	133	288	155		1,370
税 金 等 調 整 前 四 半 期 (当 期) 純 利 益	896	787	△ 109	△ 12.2	4,519
税 金 費 用	411	438	27		2,495
少 数 株 主 利 益	4	3	△ 1		13
四 半 期 (当 期) 純 利 益	481	345	△ 135	△ 28.1	2,010